

令和元年度 決算報告

決算は、村がどのような事業を行い、どのようなお金が入ってきたかなどをとりまとめたものです。令和元年度の決算や財政指標から、本村の財政状況をお知らせします。

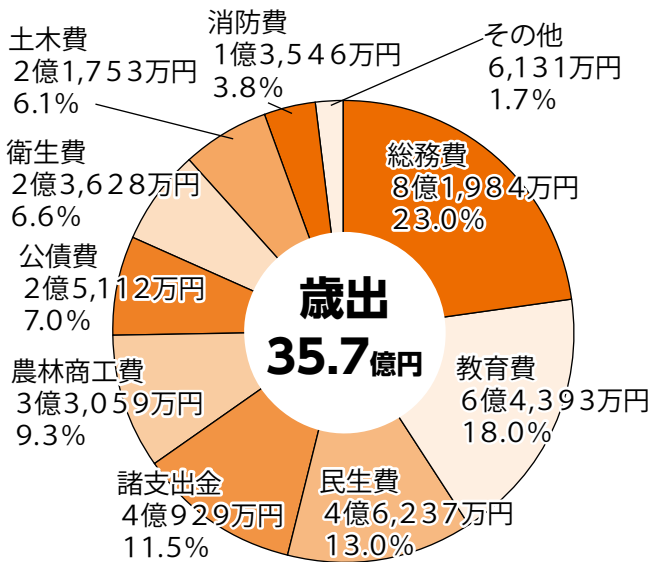
令和元年度一般会計決算は、歳入39億4,030万円、歳出35億6,772万円、前年度と比べると歳入で1億7,434万円、歳出で1億1,430万円減少した決算となりました。

また、一般会計と7特別会計、水道事業会計並びに下水道事業会計の合計10会計を合算すると、歳入61億4,997万円、歳出59億4,726万円となり、前年度と比べると歳入で688万円、歳出で2億402万円の増加となりました。

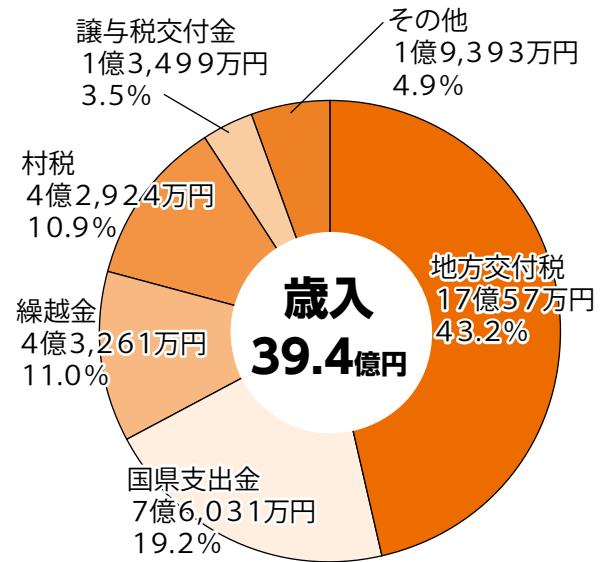
財政健全化法に基づく判断比率は、国の定める基準を下回り、財政状況は健全であるという結果ができました。今後も引き続き、健全な財政運営の取り組みをおこなっていきます。

一般会計決算内訳

歳出



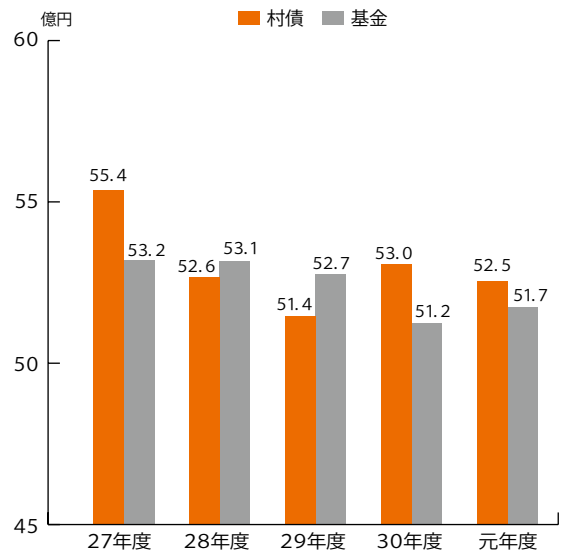
歳入



特別会計決算額

会計名	歳入	歳出
整備基金	3,901万円	3,733万円
高松塚壁画館受託事業	1,354万円	1,354万円
国民健康保険 (事業勘定)	7億8,527万円	8億597万円
// (診療施設勘定)	1,931万円	1,931万円
後期高齢者医療	9,828万円	9,827万円
介護保険 (事業勘定)	6億2,074万円	6億31万円
// (サービス事業勘定)	502万円	502万円
飲料水供給施設事業	2,085万円	2,085万円
公有地等住宅開発事業	91万円	91万円
水道事業会計	2億1,981万円	3億562万円
下水道事業会計	3億8,694万円	4億7,240万円

村債 (借金) と基金 (貯金) の推移



令和元年度に実施した主な事業

第4次整備計画事業の推進

◆生活環境及び産業基盤の整備

整備計画等推進事業

176万円 県や関係各省庁と協議を行い「明日香村特別措置法」に基づく第5次明日香村整備計画策定及び歴史的風土創造的活用事業交付金の増額を獲得。(議連及びPT合同総会)(明日香村小委員会)(歴史的風土部会)(関係機関連絡会議)

総合計画策定事業

562万円 令和2年度から10年間の第5次明日香村総合計画を策定。(策定審議会開催【H30～】)

道路整備事業

8,356万円 道路改良工事(村道地ノ窪線等)を継続して実施。【H17～R2】
As舗装 A=2,750㎡、防護柵 L=368m等
用地買収 A=161.17㎡

水道施設整備事業

8,359万円 老朽管更新工事(御園・橘・上居、L=666.9m)及び受水地点増設整備工事(真弓)等を実施。

1,650万円 飲料水供給施設(尾曾)のろ過機能の改善のための更新工事を実施。

下水道施設整備事業

5,448万円 生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設整備工事(真弓)を実施。マンホールポンプ施設 1機場、As舗装 A=5,074㎡

安全で住みたくなる村づくりの推進

◆防災、医療・福祉・子育て、教育の充実

公共交通運行事業

3,820万円 村民の交通手段を確保するため、赤かめ周遊バスや金かめ乗合交通、コミュニティータクシーの運行を実施するとともに、八木下市線、桜井飛鳥線の路線バス維持の負担を実施。高齢者等の外出支援を行うため、福祉運賃を設定。公共交通網を確立するため、主に赤かめ周遊バスには観光来訪者の利用促進を実施。【H15～】

地域防犯推進事業

516万円 地域の防犯力の向上を図るため、防犯カメラ及び防犯灯LED化に対する補助並びに防犯灯の修繕を実施。
(防犯灯LED化補助21大字197基、防犯カメラ補助3大字、防犯灯修繕9基)【H30～】



▲防犯灯(LED化)

災害対策事業

324万円 地震や局地的豪雨などの自然災害に備えて、備蓄品等の充実を図った。【H21～】



▲備蓄品

防災・安全社会資本整備交付金事業

1,113万円 円滑な走行環境と安心安全な通行の確保を図るため、幹線道路等の舗装修繕、減速線及び電光表示板の設置等。As 舗装(村道御園・真弓1号線) A=639㎡、減速線及び電光表示板設置(村道飛鳥29号線他)

359万円 事後的な修繕及び架替えから、予防・計画的なものへの転換により、橋梁の長寿命化及び修繕費用の縮減を図るため、長寿命化修繕計画を策定。

医療費助成事業

2,779万円 必要とする医療を容易に受けられるように、心身障害者医療費、子ども医療費及びひとり親等医療費等の自己負担分の一部を助成。

クリーンセンター管理運営事業

6,637万円 飛鳥地方における広域行政の連携を図り、可燃ごみの焼却処理を橿原市に委託し、生活環境の保全と安定したごみ処理を実施。

2,831万円 焼却業務の移行に伴う施設再整備、備品購入及び跡地利用のための基本設計を策定。

健康づくり事業

1,945万円 特定健診に特化したあすか健康プロジェクト事業【H24～】や健康ステーション事業【H29～】、糖尿病等治療勸奨事業【H30～】等を継続実施し、疾病の予防、重症化の強化を図る。また、職域連携により、相互に健診受診者を募るとともに健康事業の参加者に健康ポイントを付与し多世代にわたる健康意識の向上を図った。健康応援団会員数891名

地域包括ケア体制構築事業

5,746万円 地域包括支援センターを拠点とし、社会福祉協議会等と連携し、地域サロンの活動【H27～】やあすか長生き体操【H30～】を継続し、身近な場所で定期的集いながら見守りや安否の活動を図った。また、認知症についての理解を深めるため、地域の人や専門家と相互に情報を共有する交流の場(オレンジカフェ・和)の開設【R1～】や地域ケア会議を開催し、地域で支え合う環境の整備を図った。サロン活動箇所数21箇所



▲オレンジカフェ・和

子ども子育て支援事業の推進

2,073万円 子育て世代包括支援センターでは、総合相談窓口での母子の健康管理、虐待防止、また、子育て交流や教室の実施、アプリによる情報の配信等、子育て世代の包括的な支援の運用を実施。【H28～】アプリ会員数192名

983万円 風疹抗体検査【R1～】・不妊治療費助成【H28～】・妊産婦健診助成【H18～】・給食費負担軽減【H28～】・幼稚園保育料等軽減事業【H28～】や出産お祝金、小・中学校への新入学児童・生徒へお祝金の支給【H29～】を継続し、子育て世代の経済的な負担の軽減を図った。また、幼児教育、保育、一時預かり、ファミサポ、障害児通園施設等の利用者負担の無償化を実施。

1,009万円 引き続き放課後児童健全育成事業を空き教室を利用して実施し、保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に対し適切な生活や遊びの場の提供。【H25～】利用児童数54名(通年48名 夏休みのみ6名)

幼小中学校経営事業

4,758万円 小規模校のメリットを活かし、明日香の特色ある教育として、幼小中一貫教育、英語教育や郷土学習の充実を図った。併せて、郷土学習の副読本(後期)の改訂も行った。いじめ、不登校、特別な支援を要する子どもたちへの教育相談員(臨床心理士)や特別支援員も配置し、少人数学級編成による一人ひとりへのきめ細やかな指導により、学力の向上と自立した感性豊かな子どもたちの育成を図った。

学校施設環境整備事業

8,214万円 子どもたちが安心・安全に学習できる環境整備と老朽化した給食センターの設備更新を行った。幼稚園・中学校空調機器等設置工事(繰越明許分)、給食センター設備改修工事、通学路防犯灯(LED)設置工事



▲通学路防犯灯(LED)設置

新しい流れを興し、働く場の創出

◆住まい、働く場所、新規就農の充実

定住促進事業

1,043万円 空き家を有効活用し定住促進を図るため、空き家バンク制度に基づく支援を実施。【H21～】(登録奨励金5件、仲介補助金10件、動産整理費用補助金3件、リフォーム工事補助金5件、不動産流動化対策補助金3件)

1,800万円 子育て世帯の定住促進を図り、世代間のバランスがとれた人口構成の実現と活気ある村づくりを目指すため、住宅を新築された方に対し、助成を実施。18件【H28～】

91万円 阪合地区の住宅開発事業地「檜前いおり野」において、子育て世代をターゲットとした入居の促進と住宅建設の際の景観誘導を実施。入居件数21件【H28～】

空き家等の対策及び活用事業

400万円 既存建物を改修し商業施設として活用する際のリフォームに対し一部助成を実施。(2件)

担い手育成支援事業

368万円 農業従事者の高齢化や担い手不足が進展するなか、持続的な営農活動が行えるよう、新規就農者や認定農業者等が行う生産活動の支援を実施。（農業次世代人材投資事業（新規就農者支援）3名、農業後継者支援事業 2名）【H22～】

有害獣対策事業

1,393万円 有害鳥獣による農作物の被害を抑えるため、猟友会及び捕獲専門員と連携し、個体数の減少に継続的に取り組むとともに、新たに大字への忌避剤配布や効率的対策に向けた野生獣行動調査、林縁部緩衝地帯として広葉樹植栽を実施。【H23～】
捕獲数138頭（イノシシ62頭、シカ68頭、アライグマ8頭）

飛鳥の魅力を磨き、来訪者増加の推進

◆文化財、情報発信、来訪者への案内機能の向上

世界遺産登録推進事業

286万円 世界遺産登録推進協議会を中心として、専門家のアドバイスを受けながら推薦書素案を作成し、文化庁へ提出。併せて、周知・啓発活動として講演会を実施。【H18～】

観光活性化事業

234万円 明日香村の歴史・文化・自然などの地域資源を広くPRするとともに、観光来訪者の受入環境充実化を実施。観光事業者等のWi-Fi導入経費の支援（3施設）、トイレの洋式化（3基・明日香の夢市）、観光プロモーション会等への参加。

観光交流活性化事業

858万円 明日香の価値（歴史・文化・自然等）を国内外に広く発信するため、また来訪客増加と交流促進による地域活性化に向けて、光の回廊・古都飛鳥文化祭等の観光イベントを開催。

旅行商品等造成事業

353万円 飛鳥観光協会と連携し、周遊促進と滞在時間の延長による観光消費の増加に向けて、地域の観光資源を活かした着地型旅行商品の造成及び体験メニューの開発を実施。（造成プログラム 9プログラム）

教育旅行推進事業

200万円 地域の特性を活かした滞在型の体験交流プログラムとして、国内外から教育旅行の誘致を促進し、地域の活性化及び地域経済の発展を図った。【H23～】（入泊数 5,201泊）

情報発信基盤整備事業

791万円 明日香村の情報を分かりやすく効果的に発信できるガイドブックやSNS等の情報基盤整備を実施。（総合パンフレット等作成、あすかなびの管理及び更新、ポータルサイトのリニューアル、外国人向け情報サイトへの掲載）

飛鳥宮跡保存活用事業

28万円 飛鳥宮跡の確実な保存と有効な活用に向け、県と連携して史跡の追加指定及び公有化を促進し、飛鳥宮跡活用委員会を設置して、保存活用計画を策定中。【H25～】 史跡指定面積 36,537.28㎡

牽牛子塚古墳等整備事業

1億1,017万円 牽牛子塚古墳と越塚御門古墳の保存・活用に向けて整備工事を実施。史跡地整備（遺構保護施設工（越塚御門古墳復元）・補強盛土工等）【H25～R3】

村民等との協働

◆地域住民、各種団体、企業、NPO、学校等との連携・協働

村民協働事業

37万円 景観づくり協議会による景観形成活動に対する景観配慮意識向上への支援を実施。【H23～】

4,074万円 大字単位の景観、環境美化の維持・保全及び伝統行事の継承に対する支援を実施。【S55～】

5,343万円 住宅等の新增改築に伴う屋根、外壁及び石積みに対する支援を実施。【S55～】

地域おこし協力隊事業

964万円 過疎地域に認定された本村において、地域外から定住し、活動を行う人材の積極的な受入を実施。（農業分野1名、観光分野2名）【H29～】

芸術文化事業

1,249万円 村内在住の芸術家や招待作家による芸術イベントの開催、各種公民館講座の開催や公民館利用団体や子どもたちの日頃の練習成果を発表する場を設けるなど、村民と来訪者、世代を超えた交流や文化の継承を促した。

飛鳥ハーフマラソン事業

1,160万円 2020東京五輪に向け、スポーツへの興味関心が高まる中、令和2年度での第1回飛鳥ハーフマラソン大会開催を目指して準備を進めた。

新庁舎建設推進事業

4,932万円 新庁舎建設に係る基本設計の作成及び基本設計を基に、実施設計と施工を行う事業者の選定作業を開始。用地取得に向けた収容用法に基づく事業認定を取得し、用地交渉を実施。

健全化判断比率・資金不足比率

